

平成22年度 特色ある特別支援学校づくり推進事業 取組み内容と自己評価

○ 本事業は、県立特別支援学校に対して学校裁量予算を導入し、校長のリーダーシップのもとで行われる、各校の課題解決に向けた特色ある教育活動を充実させることにより、特別支援学校の活力あふれる主体的な学校づくりを支援するものです。

平成22年度の各学校での取組みに対する自己評価を掲載します。

| 学校名 | テーマ・事業名 | 主な取組み内容 | 自己評価 |
|--------|---|---|---|
| 山形盲学校 | 1 「自立と社会参加のための ブラインドプロジェクト」 2 「絆を育むブラインド交流 プロジェクト」 | <ul style="list-style-type: none"> ・「盲導犬体験講座」、「ブラインドレストラン講座」、「ブラインドマナー・文化講座」を体験 ・「フロアバレー、サウンドテーブルテニス」による高校生との交流会 | <ul style="list-style-type: none"> ・マナー体験や交流等をとおして児童生徒が、積極的に人と関わろうとしたり、「自分の進路や生き方に関すること」に向き合い、自立や社会参加のために努力しようとしたりする姿や意識がみられた。 |
| 山形聾学校 | 「花いっぱい 笑顔いっぱい ろう学校」 | <ul style="list-style-type: none"> ・花の栽培を行い、地域の関係機関等へ贈呈 ・専門家を招聘し造形教室の開催及び作品制作 ・全幼児児童生徒による共同作品制作と作品展の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・花の栽培、地域の関係機関への贈呈は地域とのより強い絆を構築するために有効であった。 ・共同制作による作品や「まるごと山聾作品展」による幼児児童生徒全員の作品展は地域の方々からも歓迎され、好評であった。理解促進にも有効であった。 |
| 酒田聾学校 | 1 「子ども達が楽しむヒップ ホップワークショップ」 2 「地域に酒聾の花を咲かせ よう」 | <ul style="list-style-type: none"> ・音やリズムを全身で体感しながら踊るヒップホップワークショップダンスを体験 ・プランターで花を育て、地域の保育園、小中学校、市役所等に配布 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒップホップダンスでは、講師が用意してくれた曲を聞きながら体を精一杯動かし楽しむことができた。 ・花を育て贈呈する活動は2回行い、より感謝の気持ちを表すためにできることを工夫することができた。 |
| 米沢養護学校 | 「音楽が響き合う学校～ソー ラン節、太鼓を叩く、オーケ ストラの体感を楽しもう～」 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方を講師に「ロックソーラン」を体験 ・「よねようまつり」オープニングで「ロックソーラン」を披露 ・病院訪問学級にプロの演奏家を招き、演奏を体感 | <ul style="list-style-type: none"> ・九里学園高校生と「ロックソーラン」を通して交流することで、高校生の真似をしたり生き生きと体を動かしたりして踊る姿がみられた。 ・プロの演奏を体感することで明らかな表情の変化がみられたり、一緒に口ずさんだりする児童生徒がいた。 |
| 新庄養護学校 | 「動物との触れ合いを通した 豊かな心を育むプロジェク ト」 | <ul style="list-style-type: none"> ・動物（含む魚類）をレンタルし、動物と触れ合ったり世話をしたりする体験 | <ul style="list-style-type: none"> ・2年目の活動になり、生き生きと活動している様子や動物との触れ合いに慣れ積極的に関わる姿が見られた。 |

| | | | |
|---------------------------|--|---|---|
| 鶴岡養護学校 | 1 「ミュージックケアを楽しもう」 2 「同年代の友だちと遊ぼう」 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージックケアの講師を招聘し、体育館で学部ごとに5回実施 ・体育館に大型遊具を設置し、小学校と交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージックケアでは、児童生徒の実態に応じた音楽や動きを取り入れることで、体を動かすことを楽しんだり、リラックスしたりすることができた。 ・大型遊具を使った交流では、遊びを通して活動する中で人と関わる経験を広げることができた。 |
| 村山特別支援学校 ＜本校＞ ＜楯岡校＞ | 1 「むらとくまつりや南山形地区文化祭等をとおした地域との交流」 2 「『むらとく囃子』や校外バザー等を通じた地域交流推進・充実」 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区文化祭で「よさこいソーラン」を発表、作品展示 ・自分達で作った製品でバザー開催 ・学校祭や老人介護保険施設で「むらとくばやし」発表や地域の祭実行委員会有志との交流 ・多くの方が集まる場所でバザー開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域の方と交流が図られた。また、自分達で作った製品を購入してもらうことで生徒の自尊感情を育むことができた。 ・「むらとくばやし」の発表は地域の方々から評価され、生徒の自信につながっている。また、バザーでは校名入り祭神天を着用し連帯意識を持ち意欲的に活動できた。 |
| 上山高等養護学校 | 「職業科における学習充実事業」 | <ul style="list-style-type: none"> ・「クリーニンググループ」「農業・園芸グループ」「喫茶サービスグループ」において、基本的な技術についての実践研修講座開催 ・老人ホーム等での出前喫茶コーナーによる実習や食用ほおずき栽培と販売 | <ul style="list-style-type: none"> ・講師招聘による実践研修により技能が向上した。 ・公の施設等で実習を繰り返すことで利用者から感謝される体験、働く喜びや成就感を感じることができ、働くことの意義の理解や意欲につながった。 |
| 鶴岡高等養護学校 | 「鶴高養、働くネットワークづくり」 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業にかかわる技術習得研修会の開催 ・生徒による地区別事業所等訪問により、現場理解と実習を体験 | <ul style="list-style-type: none"> ・職業にかかわる技術の習得が進んでいる。 ・生徒による事業所等訪問により就労の意識が高まった。 |
| ゆきわり養護学校 | 1 みんなでつくろう「ゆきわりのうた」プロジェクト 2 「地域交流教育プロジェクト」 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆきわりのうた」の基礎となる音楽鑑賞や楽器演奏体験 ・地区住民の方と「だんごさし」交流活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・生の演奏を鑑賞したり、楽器演奏を体験したりすることで聴く楽しさ、演奏する楽しさを味わうことができた。 ・地域の方との交流活動をとおして、人と関わる経験が広がり、季節の伝統行事に親しんだ。 |
| 山形養護学校 | 1 「わたしの学校クリーンアップ作戦」 2 「地域の人たちと文化や芸術を体感する学校づくり」 | <ul style="list-style-type: none"> ・病弱の児童生徒も防塵に配慮された掃除機を活用した清掃活動 ・地域の方との茶道、陶芸教室、コーラス等の体験交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・清掃が上手にできた達成感や他者からの称賛により活動に対する意欲が増し、主体的に取り組む姿がみられた。 ・地域の方と音楽や芸術活動をとおした交流は、緊張感の強い児童生徒にとってリラックス効果があった。また、コミュニケーション力を形成する一助になっている。 |

